

留 学 生 通 信

ベトナム国と人々

Vietnamese Country and People



グエン ゴック カイ
Nguyen Ngoc KHAI

■2009年中部大学工学部機械工学科卒業予定
 ■主として行っている業務・研究
 ・AZ31マグネシウム合金摩擦圧接継手の疲労特性に及ぼす微粒子衝突処理の影響
 ■通学先
 中部大学工学部機械工学科4年
 (〒487-8501 春日井市松本町1200)

1 自己紹介

こんにちは！私はグエン ゴック カイ、日本に来てから今年で5年目になる。私は現在中部大学の工学部機械工学科4年生で、「AZ31マグネシウム合金摩擦圧接継手の疲労特性に及ぼす微粒子衝突処理の影響」というテーマで研究している。

2 言語と民族

ベトナム(図1)はインドシナ半島の他の国々と同様に多民族国家である。人口は約8200万人で、そのうち、人口の80%はキン族で、ほかに53の少数民族が存在している。多民族国家で、さまざまな言語および文化が各地に存在している。

3 憲法の特徴

1960年の国勢調査では、ベトナム民主共和国の民族数は125と予測されたが、1979年に54であると確認された。ベトナム語はキン族の言語であるが、ほかの少数民族もそれぞれに独自の言語をもち、民族の平等、言語使用についての権利が憲法で等しく保障されている。

教育言語はベトナム語である。しかし、少数民族では、初等教育がチャム語、クメール語、ムオン語、タイ語、フモン語、タイ語など独自の言語で行われることが法律として、許可されている。

現在、キン族の次に、人口の多い少数民族はエデ族である(25万7千人)。エデ族とほかの少数民族(ザライ族、バナ族など)は中部高原地帯に



図1 ベトナムの地図

住んでおり、経済水準や文化程度も高い。しかし、最近、国の経済発展とともに、多くの少数民族の言語および文化がなくなるという傾向がある。その問題に対して、政府もさまざまな対策を出した。たとえば、民族文化を維持するために、政府からの資金援助がなされた。また、エデ族の児童は1年次からエデ語の授業を受け、エデ族の教員からローマ字表記のエデ語の読み書きを習う。

キン族とほかの少数民族との間には、大きな教育格差がある。たとえば、上級学校の進学にはキン族と同様にベトナム語による試験を通らなければならない。しかし、少数民族子弟には入学試験の合格点が低く設定され、寄宿舎への優先入学が認められている。さらに、「上」を目指すほどに、ベトナム語が重要となる。つまり、ベトナム語、英語などの外国語の運用能力は社会的活躍の場所、経済的豊かさを左右する重要要素である。



図2 Hoa Dao (桃の花)



図3 Hoa Mai (梅の花)

4 風俗習慣

多民族国家であるため、南から北まで、毎年約500の大小の祭りがある。その中で、最も大きな祭りはお正月である。ベトナムのお正月「テト」は旧暦(2月の初め前後)に行う。お正月には、各家の前に、ベトナム北部では「桃の花(図2)」、南部では黄色い「梅の花(図3)」が飾られ、絶対欠かせない飾り物である。

テトは行く年と来る年、天地の運動周期の節目であるとも信じられており、自然や天への祈りと感謝の日、先祖への思いをめぐらし、家族や親戚、近所の人々との関係を再確認する機会でもある。

テトの仏壇には餅や菓子類が供えられるほか、欠かせないのが果物である。それはグークアー(五果)と呼ばれるもので、北部は青いバナナ、ザボン、オレンジ(あるいはミカン)、柿、キンカン。南部は、ココナッツ、カスタードアップル、パパイヤ、青いマンゴー、イチジクか他の果物である。これら五種の果物は天からの恵みで、人々の満ち足りた生活への渴望を象徴している。またテトでは、より良い年を願い、書き初め、初耕作(田んぼに出て一年で最初の作業をする)、ハイロック、新春の参杯、長寿祝いなど、独特の伝統的習慣がある。

ハイロックと呼ばれるものは、初詣の際に寺や神社に植えられている菩提樹ようや榕樹の古樹から、その枝先を折っ

て持ち帰るもので、そうすることで家内に恵みがもたらされると考えられている。また、ソンニャーといわれるものは、元旦に初めてわが家に入ってくる人が一年間の幸運を決めると信じられているもので、その人は良い運と福の持ち主でなければならない。家主との相性もあるといわれている。なので、元旦の朝に他人の家を訪問する際は、少し気をはらったほうがいいかもしれない。その年、その家に良くないことが起きれば、最初に訪問した人のせいにされてしまう可能性がないでもない。

新年のお祝いの言葉は、家族や親戚、友人などと必ず交わし合う。内容も相手によってそれぞれで、学生に対しては学業の向上、商売をしている人には商売繁盛を、また一般的には健康と幸福を祈る。また、ベトナムでもお年玉を交わす習慣があるが、日本とは少し違うようだ。まずは子供たちが祖父母と両親にお年玉を贈り、そして、祖父母は孫、近所の子供たち、友人などにお年玉をあげる。日本と違う点は、大人から子供にだけでなくその逆も行われる点で、金額はさほど大切ではない。紙幣はおめでたい赤い色のものが好まれる。自分の心から慕う人にもらったお年玉は、封を空けずずっとしまっておく人もいる。

5 ベトナムにおける日本および先進国技術

歴史によると中世史から近代史にわたって一言で言うとなれば、支配と支配からの反抗の歴史と言える。1975

年4月30日北ベトナム軍のサイゴン占領によりベトナム戦争が終了するまで、悲惨な泥沼の戦いが続いた。現在国を立て直すために政府は世界各国と外交関係を重視したり、さまざまな外資法を改善している。そして、日本および各先進国の技術も欠かせないものである。私は子供のころから機械のことに興味を持っていて、祖父と父の車修理の家業を継ぎたいので、大学受験する時迷わずに機械工学科を選んだ。金属材料、力学、制御や様々な加工法などについての基礎は先生方にしっかり教えていただいた。身に付けた知識を役立て、少しでも母国の将来の機械技術を支えたいと思う。

文献

- (1) http://www.vietnamtourism.com/v_pages/country/overview.asp
- (2) <http://vietbao.vn/Tet/Cham-soc-mai-sau-tet/40242477/365/>
- (3) http://images.google.co.jp/imgres?imgurl=http://lh4.ggpht.com/_rpS5yOie398/R4UR0aEZ23I/AAAAAAAAAEA/B16fSA88IBk/dao%2Bthe.jpeg&imgrefurl=http://picasa-web.google.com/lh/photo/nqNhNbp15qX9od3GIKTXu&h=2448&w=3264&sz=218&hl=ja&start=10&um=1&tbnid=Xp_RBxkIHDXrtM:&tbnh=107&tbnw=143&prev=/images%3Fq%3D%2B%2Bhoa%2B%2Bdao%2B%2B%26um%3D1%26hl%3Dja%26lr%3D%26sa%3DX